

スタック構成とは

目的

ネットワークスイッチの中には、他のスイッチに接続して、1つのユニットとして一緒に動作できるものがあります。これらの設定は「スタック」と呼ばれ、ネットワークの容量を迅速に増やすのに役立ちます。

このドキュメントの目的は、スタック構成の基本と、スタック構成がネットワークにもたらす利点について説明することです。

該当するデバイス | フォームウェアのバージョン

- SG350X | 2.3.0.130
- SG350XG | 2.3.0.130
- SG550X | 2.3.0.130
- SF550X | 2.3.0.130
- SX550X | 2.3.0.130
- CBS350-2X | 3.0.0
- CBS350-4X | 3.0.0

スタックは、複数のスタックابلスイッチで構成されるネットワークソリューションです。スタックの一部であるスイッチは、1つのデバイスとして動作します。その結果、スタッキングソリューションは、ポート数を増やししながら、単一のスイッチの特性と機能を示します。

スタック構成の詳細については、次のビデオをご覧ください。

スタックする理由

スタッキングにより、ユーザは複数のデバイスを管理する手間をかけずにネットワーク容量を拡張できます。

スタック可能スイッチは、スタックの全体的なパフォーマンスに影響を与えることなく、必要に応じてスタックに追加またはスタックから削除できます。トポロジによっては、スタック内のリンクまたはユニットに障害が発生しても、スタックはデータの転送を継続できます。これにより、スタック構成は、ネットワーク容量を拡張するための効果的で柔軟かつスケーラブルなソリューションとなります。

スタッキング用語

次の用語に慣れていない場合は、シスコビジネスをご覧ください。[新用語一覧](#)。

すべてのシスコビジネススタックには、アクティブスイッチまたはコマンドがあります。アクティブスイッチは、スタック全体の設定を処理するスタック内のスイッチです。スタックを管理する場合、アクティブスイッチは変更を加えるために接続するデバイスです。アクティブスイッチは、スイッチがスタックに出入りするタイミングの検出、古いスイッチのアップグレードなど、他の重要なスタック機能も処理します。

スタンバイスイッチは、元のアクティブスイッチがオフラインになると、新しいアクティブスイッチになります。このように、バックアップはスタックの復元力を維持するのに役立ちます。

メンバーは、スタック内の追加ユニットとして動作するスタックカブルスイッチです。

スタックポートは、スタック内の他のスイッチとの通信に使用されるスイッチ上のポートです。モデルに応じて、スイッチには事前設定されたスタックポートまたはユーザ定義のスタックポートがあります。

結論

このドキュメントを読むと、スタック構成の概要と、そのスタック構成がネットワークにもたらす利点について、理解を深めることができたと思います。

この記事に関連するビデオを表示...

[シスコのその他のテクニカルトークを表示するには、ここをクリックしてください](#)